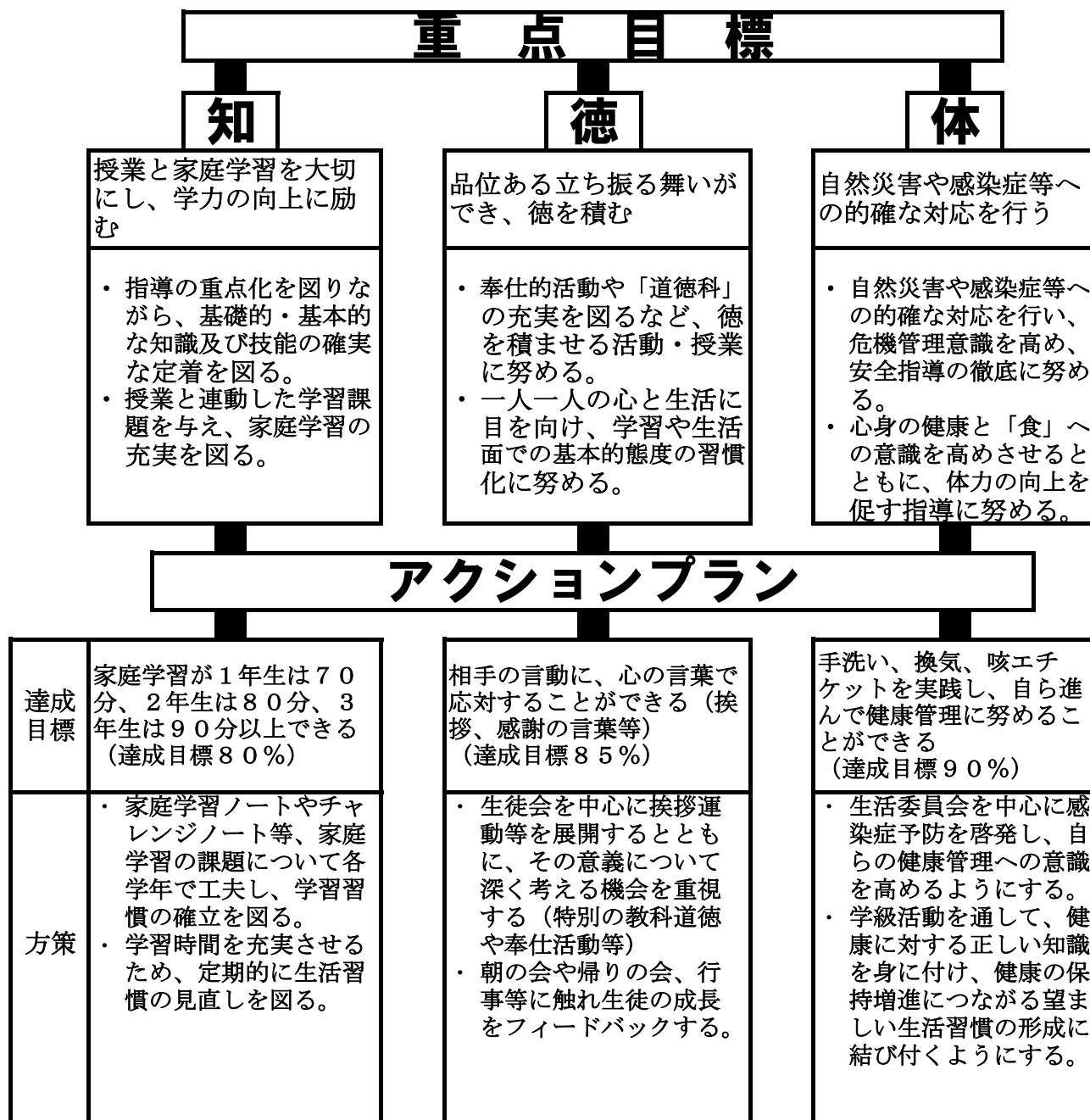


◆ 重点目標を達成するための行動目標



◆ 学力向上対策

【現状・課題】

- ・ 主体的に学習に取り組む生徒が増えているが、学力の二極化が見られる。また、学び合いにおいて、自分の考えを積極的に表現することや、結論や根拠を明確に相手に伝えることに苦手意識をもつ生徒が多い。
- ・ 小中連携で家庭学習の定着を図る取組をしているが、メディアの利用時間が多く、家庭学習の時間が少ない。個人差も大きい。よりよい睡眠を確保されていない生徒もいる。

【対策】

- ・ 教科の横断性を意識した単元構想デザインを工夫し、特に、関わり合い(聴き合う・伝え合う)を意図した学習課題や場の工夫と、自らの考えをもち根拠を明らかにするための書く活動の充実を図る。
- ・ 授業だけでなく様々な関わり合いを通じて、相手に分かりやすく伝える力を育てる場を設ける。
- ・ 発言やつぶやきを大切に拾い生徒のアイディアや創意を生かす。
- ・ 電子黒板等のICT機器を活用する。
- ・ キャリア教育の充実を図るとともに、「家庭学習強調週間」(月1回)を設け、「自発学習」への意欲付けと継続を促進する。